



# 神奈川県環境学習リーダー会

## 会報 No. 44

2005年  
4月 5月

### 役員会報告 (事務局長 大森 勝)

4月役員会 (4月11日)

1. 総会関連
  - 1) 総会要領の審議及び3月末会員数の確認  
正会員 = 165人、賛助会員 = 5人
2. 報告事項
  - 1) 環境情報コーディネーター  
H17年度は16人中に当会から12人決定の報告
  - 2) 第1回地域活動報告会  
出席人数・29名で内容、討議共に成功裏に終えた報告
  - 3) 会報44号企画案
  - 4) 鎌倉腰越学習センター講師派遣 (実施予定 17年9月)  
2人の講師が内定したとの報告

5月役員会 (5月9日)

総会前につき新役員候補も出席して開催。

1. 総会関連  
総会資料の確認、および式次第、役割分担等の

### 安丸元一新代表に聞く

5月14日の総会において近藤作司前代表の後任として選任されました安丸元一新代表に、就任に当たっての抱負などお聞きしました。

Q 今年が京都議定書の発効という地球温暖化防止活動の大きな節目の年ですが、代表就任に当たっての抱負をお聞かせ下さい。

A お説の通り、今年が京都議定書が発効され、議論されてきた環境問題を着実な行動へ移す年です。このような時期に伝統ある当会の代表を仰せつかり、身分不相応ではないかと、身の引き締まる思いです。長年にわたりご活躍されている諸先輩及び関係官庁、



確認

2. カーフリーデー運営委員について  
リーダー会から運営委員は出さないが、イベントなどの実行委員会には出席参加する。
3. 事業担当役員欠席の場合  
役員会に担当役員が欠席の場合、代行を出すこととする。
4. 報告事項等
  - 1) 今年度のグリーン教育支援システム (県委託事業) 事業参画への事前準備を行う必要がある。
  - 2) 昨年行った地球温暖化ワークショップは行わないこととなった。
  - 3) 自然環境部会への入部会勧誘依頼があった。
  - 4) 広報部員募集のお願いがあった。

### 平成17年度役員と監事

代表	安丸 元一
副代表	黒澤 宏
副代表	柳川 三郎
(市民環境活動報告会、子ども環境講座担当)	
事務局長	大森 勝
事務局 (新アジェンダ21かながわ推進担当)	沼田 英熙
会計担当	鎌田 英光
広報部長 (兼)	黒澤 宏
地域活動サポート部長	香川 興勝
事業担当	
(エネルギー部会)	吉田 榮一
(ケナフ部会)	安部 洋子
(自然環境部会)(兼)	安丸 元一
(廃棄物GO3部会)	狩野 光子
(大気環境部会)	立石 定巳
(水環境部会)	植松 均
(グリーン部会)	杉山 陽絵
監事	北村 博子
監事	山田 あや子

### 平成17年度部会長

エネルギー部会	安藤 紘史
ケナフ部会	荒谷 輝正
自然環境部会	(空 白)
廃棄物GO3部会	原園 信夫
大気環境部会	猪俣 満智子
水環境部会	斉藤 昭一
グリーン部会	杉山 陽絵

団体の方々のご指導、ご鞭撻を頂きながら自己研鑽し環境保全・学習活動に当会が幅広く貢献できますよう懸命に働く所存です。

当会の目的は会員相互の連絡・啓発と、環境学習・保全活動を推進する事にあります。幸い、当会は他に類を見ない多くの人材に恵まれ、この数年・皆様のご努力で着実に各活動が広がって参りました。更に会員相互の親睦を広め安定した活動団体として発展するには、まず全会員の協力が必須条件であります。

当会のイベント、会合に多くの会員が快く、楽しく参加頂けるようなシステムを考え内部充実を図らねばなりません。そして外部に対しては組織団体としての信頼度を高める手法を考えねばならないと考えます。

また、環境問題は地球温暖化防止をはじめ、あらゆる課題に対し日本のみならず世界規模での活動が望まれています。我々の仲間から一人でも二人でも世界に向かって、環境アドバイザーとして環境後進国の支援のため活躍頂ければと願っています。

Q 今年度も「環境展」や「市民環境活動報告会」など、数多くの事業が計画されています。これらの事業に取り組む基本的な考え方をお聞かせ下さい。

A 昨年度はスタートから、これら全事業に参加しましたが、何れをとっても充実した申し分の無いもので、携わった方々に敬意を表したいと思えます。今後とも年毎に拡充して行きたいと思えます。そしてこの内容が一部の活動家にとどまらず、県民一人一人に浸透するよう努力せねばなりません。幸い当県には市民、各種団体、行政が協働で練り

上げた「新アジェンダ 21 かながわ」と言う行動指針があります。多くの機会を模索しこの「新アジェンダ 21 かながわ」を広めて参ります。

これには当会の事業拡大と発展が欠かせず、全会員の力をお借りして地域の環境イベント等に積極的に参加し、皆様と相談しながら一人でも多くの市民から賛同を得、各地域にマッチした環境保全・学習に取り組みたいと思っています。

Q 昨年度は環境モニタリング部会に代わって大気環境部会と水環境部会が設立され、今年度はグリーン部会と廃棄物・GO3部会が新たに発足するなど部会活動が充実する一方で、更なる活性化が望まれる部会もあります。部会活動の在り方についてお聞かせ下さい。

A 部会活動については、時代の変遷、会の発展と共に変化し、夫々の部会が独自の活動をしてきましたが、今後とも充実していかねばならないと思えます。ただ各部会と同様に地域で活動されている会員が多くいますので、各部会はこの地域の会員との連携を模索して頂きたいと思えます。提案ですが地域活動サポート部と各部会が協働により全県下で目的を同じくする夫々の活動グループとネットワークを組み、相互に切磋琢磨し地域で活動する会員を含めた名実共にk・リーダー会の活動部会と成長して頂きたと考えます。最終的には全会員がいずれかの部会に所属した形が理想ではないでしょうか。

最後に重ねて申しあげますが、全会員の明るく楽しい活発な参加とご意見をお願いします

どうもありがとうございました。

(インタビュー：広報部 木本 光昶)

## 平成 17 年度総会 開催される

事務局長 大森 勝

平成 17 年度総会は、平成 17 年 5 月 14 日(土) 13 時から神奈川県環境科学センターで開催されました。当日は、会員の他に環境科学センターの武所所長、環境学習担当の野崎、田中両氏が来賓として出席されました。

総会は、黒澤 宏氏の総合司会で執り行われ、近藤代表挨拶に続いて、来賓の武所所長からリーダー会の今までの協力に感謝すると共に、今後とも協力して環境問題に取り組んでいただきたいとの挨拶がありました。

次に議長選出に移り、内藤克利氏が選任されました。資格確認では、山田あや子事務局長から、会員

総数 165 名、委任状を含めた出席数 115 名(会場の出席者数 37 名)で、本総会は成立するとの報告がありました。

又議長は、書記に大森、議事録署名人に内藤議長、木本光昶氏、高橋尚道氏を指名して議事に入りました。

議事は、総会案内に同封された「平成 17 年度 神奈川県環境学習リーダー会 総会資料」(以下資料と略称)に基づいて進行されました。

### 第 1 号議案 平成 16 年度事業報告承認の件

事務局長から総会資料に基づいた報告があり、原案通り承認されました。

## 第2号議案 平成16年度収支決算報告、監査報告承認の件

柳川会計担当から資料に基づいて報告があり、今年度より一般会計と特別会計に分けた事、また財産目録、貸借対照表を新たに作成したこと等の説明がありました。

引き続き木本監事より監査報告があり、会計監査の結果は適正であり、今年度から実施した業務監査についても、適正であったとの報告がありました。

議長は、本議案の賛否を諮り異議なく承認されました。

## 第3号議案 平成17年度役員選出の件

山田事務局長から資料に基づく説明が行われ、原案通り承認されました。

## 第4号議案 平成17年度事業計画、および5号議案 平成17年度予算案

近藤代表より第4号議案以降は、新役員によって説明、審議したいとの提案があり、また議長より、4号議案（事業計画）及び5号議案（予算）は、相互の関連が深いので一括審議したいとの提案があり、それに基づき議事は進行されました。

4号議案は、大森新事務局長、5号議案は鎌田新会計担当から資料に基づき説明がありました。

17年度事業計画報告は資料によるが更に以下の通り補足説明した。

- ・ 部会活動については、廃棄物・リサイクル部会が廃部され、代わりに廃棄物G03部会が、又新たにグリーン部会が設立された。
- ・ 今年度重点的に取り組むものは、地域活動サポート部を中心とした、地域活動のネットワーク化と地域交流会の開催及び県との連携強化、受託事業を積極的に推進すること等である。
- ・ 新設2部会の担当役員より活動内容の報告と共に、各部会への新規入会等への協力が要請された。

17年度予算案の報告は資料によるが以下の通り補足説明した。

- ・ 一般会計においては、収支がバランスするよう考慮した。それでも繰越金がなければ赤字となるため、支出を出来るだけ抑えた。
- ・ 企画事業費は、部・部会活動を活性化するため、部会ごとの活動に応じた予算とし合計では大幅に増額した。事業費でまかなえないような備品は、リーダー会の備品費とした。
- ・ 特別会計での事業収入は、今年度の県の計画変更により減少し、収支差額も前年度比減額となったが、増収を図る一方、経費の節減に努めて当会体力の増強になるよう努力したい。

予算案説明の後、質疑応答に入りました。主要な質疑内容は以下のものでした。

- (1) 特別会計から一般会計に大幅に補填するのは問題であり、一般会計の支出を抑え一般会計の収支をバランスさせる必要があるが、当会の体力を充実するためには特別会計で増収を計るしか無いと考える。
- (2) 各部の企画事業費の考え方は、予算どおり配分するのではなく、活動に応じて調整できるように考えている。
- (3) 備品購入としての接写カメラの取り扱いは、リーダー会の備品として管理する。
- (4) ボランティア保険の対象者は、当会以外のボランティア活動で保険に未加入であり、本人から要望がある場合としたいと考えている。
- (5) 地球温暖化防止活動推進員への支援とは、会独自のノウハウ提供・保有機器の貸出し等である。
- (6) 通信費節減は重要であり、郵送費の個人負担等を含め検討を進めるべきであろう。

質疑応答の後、議長は本議案の賛否を議場に諮り、原案通り承認されました。

以上全議案の審議が終了した後、退任役員の挨拶、引き続き安丸新代表挨拶があり、黒澤司会の閉会宣言があり、総会の行事はすべて終了しました。

## 役員退任の方々のメッセージ

### 退任の挨拶

前代表 近藤 作司

平成13年度の役員（事務局員兼新規事業担当）14年度の監事を経て平成15年度と16年度の代表を務めさせて頂きました。2年前の代表就任時の計画等を見ますと、結果の成否は後の判断になると思いますが、甘い見方とお叱りを受けるでしょうが

概ね手がけられたかなと思っています。県の協働事業推進の方針により、NPO等との事業が推進されることになり、K・リーダー会も任意団体でありながら知事との契約を結び、環境学習などを事業として取り組むことが出来るようになりました。その結果2年間で7校の小学校のワークショップ等を実施できました。これらは今後も続くものと思いますので、K・リーダー会員の幅広い活動と豊富な知識を

活かして取組みの継続を願っています。

15年度には退会者がかなりあり、16年度もその傾向が見られました。一方賛助会員の入会もあり、会員数は170人台をキープしています。又一時全く消えたかに見えましたNPO法人化の問題も時々話題に上るようになりました。このほかK・リーダ

一会固有の課題を先送りしますことを申し訳なく思っています。

個人的には会の運営とは中々うまくいかないものだと痛感しています。可は無く不可ありの2年間でしたが、皆様のご支援を感謝しています。有難うございました。

## 退任のあいさつ

前事務局長 山田 あや子

平成13年から会計担当として2年間、またその後は、事務局長として2年間、皆様に支えて頂きながら、何とか大任を果たして頂くことが出来ました。ありがとうございました。

途中会費の値上げを余儀なくされましたが、会員の皆様の地道な活動のおかげで様々な事業にも携わることが出来、大きく発展してきたと思っております。

総会が5月14日(土)に無事終了し、役員会は新しいメンバーを迎えスタートしました。役員になられた皆様には是非新しい息吹で、k・リーダーの皆さんが会の基本方針にもありますように、「相互の情報交換、相互に研鑽を積極的に行い、習得した知見を地域の環境学習活動と環境保全活動に生かす」ことが出来る「会の運営」をお願いいたします。

今後は、私も役員として経験させていただいたことを、地域の中で、一人でも多くの方が環境への意識と行動が広がる活動に生かして参りたいと思っております。

## 退任に当たって

前自然環境部会担当 岩田 寿郎

この1年間、皆様にお世話になりましたことに御礼申し上げます。その上で、担当部門の活動が、諸事情があるとは申せ、思うようにいかず、ご迷惑をおかけしました。

前号にも少々記載致しましたが、環境問題とは、大胆に、一言でいえば、我々の生活の仕方から派生していると言えましょう。人間が地球上のあらゆる生き物の仲間の一員であるはずが、他に抜きん出た存在として、他を従え1人勝ちの世界を創り上げたその結果と考えるのは思い過ごしでしょうか。

そうは言っても、昔の生活に戻るはずはありませんから、少なくとも、出てしまったゴミは、ルールに従い、分別を行い、指定通りに搬出し、街中に放擲しないことくらいは守れるはずです。

そして、公共乗り物を利用した生活を実行してい

ます。その上で、今、残っている森の姿を地域住民の力を結集して、活力のある森に回復するよう力を貸すことだと思います。(二酸化炭素貯留には触れません)

森は、生物多様性の坩堝(るつぼ)であったはずですから、そうなれるように手を貸せば良いのだと思います。生物界は、自然淘汰・適者生存の原則に従っているはずで、生き残っているものに、ムダな生き物は存在していないと考えたいと思います。

棲みかたとエサを野生生物に提供できるのは、森とそこにつながるせせらぎでしょう。飼っていたペット類をゴミ同然に野に放つとどんなことになるのか?を考えない我儘では、世の中は、成り立たなくなってしまうでしょう。

半歩下がって、他人そして世の中に迷惑とならないだろうか、と自らを省みつつ老後を生きていくことが、エコ生活の基本的態度と考えています。

## 役員退任のメッセージ

前水環境部会担当 古谷 敏夫

16年度役員として諸活動に参加させていただき関係役員の皆様に、お礼申し上げます。

毎月の役員会では参加された方々の真摯な議論で会議時間ギリギリまで討論される姿に感心いたしました。

役員を体験して感ずること3項ご案内させていた

だきます。

1. 未来の子供達に環境意識向上策として、グリーン教育支援の拡大
2. 時代の趨勢からリーダー会が任意団体から法人団体(例NPO)への移行
3. 会員の皆様が、リーダー会役員体験(任期1年でもOK)

今後、リーダー会事業にご協力することを、お約束して退任のご挨拶といたします。

## 「17年度子ども環境体験教室」

### 4年目の開催！

子ども環境体験教室担当 柳川 三郎

神奈川県環境科学センター主催、Kリーダー会協力で開催される「子ども環境体験教室」は、今年で4年目を迎えました。昨年度は応募者が多く予定の5教室に加えて2教室を環境科学センターの配慮で実施できました。参加した子どもたちの9割以上が「とても楽しかった」と有意義な体験教室を開催することができました。

今年は環境科学センターのご意向もあり、企画内容について事前に各代表講師と計画をつめておりますが、基本的考え方は昨年と同様に、参加者は小学生4年生から6年生と保護者同伴を歓迎して、実施日は夏休み中の土曜日、日曜日も含めても良い方向です。

開催する教室の内容は右記の通りです。昨年と同様に講師の人たちの協力をお願いいたします。

## 17年度子ども環境体験教室

NO	教室名	日時	代表講師
1	ツバメ 朝顔で環境チェック	7月21日(木) 13時~16時	猪股
2	写真立てを作ろう	7月28日(木) 10時~15時	高尾
3	ソーラークッカーを作ろう	7月31日(日) 9時30分~14時	狩野
4	節電タップを作ろう	8月20日(土) 13時~16時30分	北村
5	ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう	8月23日(水) 10時~14時	荒谷

- ・ 場所 神奈川県環境科学センター
- ・ 募集人員 各教室 24名
- ・ 問合せ先 神奈川県環境科学センター  
情報交流部 環境学習担当  
田中 慶次  
Tel 0463-24-3311  
Fax 0463-24-3300

E-mail [tanaka@k-erc.pref.kanagawa.jp](mailto:tanaka@k-erc.pref.kanagawa.jp)

## 部会活動

### エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

#### 活動報告(4月~5月)

4月度定例部会：4月10日(日)13:00~17:00

参加者：大森、藤木、吉田、小田、北村、安藤

リーダー会役員会の報告：吉田

環境展について

- ・ 展示テーマ「未来は、私たちの対応に掛かっている」
- ・ キャッチコピー「未来は、バラ色？」
- ・ 参加者特に、子どもに興味を持って貰うため、クイズ形式を利用して内容を理解して貰う
- ・ 体験項目：手回し発電、待機電力測定、自然エネルギー、手回し発電レーシング等
- ・ 参加者確認

#### 二酸化炭素吸収システム見学

東芝 R&D 訪問 4月21日(木)14:00~17:00

参加者：下条、大森、吉田、安藤

内容・・・別途報告

#### 5月度定例部会

平成17年5月8日(日)15:00~16:00

参加者：北村、藤木、下条、大森、依田、小田、  
安藤、香川、吉田、井上、中島

本年度方針の再確認

昨年度決算報告と本年度予算承認

環境展打ち合わせ

情報交換

二酸化炭素吸収システム見学報告：安藤、下条

#### 活動予定(6月~8月)

1. 定例部会：開催場所：かながわ県民センター

6月18日(土)13:00~15:00 12F

6月度情報提供者：依田

7月10日(日)13:00~15:00 602

8月14日(日)13:00~15:00 602

2. 行事

6月4日(土)環境展

かながわ県民センター

8月20日(土)夏休み親子体験教室

環境科学センター



# ケナフ部会

ケナフ部会 代表 荒谷輝正

ケナフ部会員が携さわった 2005 年 4 月～5 月までの活動及び 6 月～8 月迄予定について報告します。

## 1 ケナフ部会定例会

4/21 4 月ケナフ部会定例会

ケナフの種まきを実施する。約 50 平方メートルに今年もケナフを播きました。

6 列の畝に、青皮 3 号を 2 列、Eveglade41 浙江中塾種 ミャンマー2000 ローゼル(半畝) Tainung 2 (半畝)を播きました。

5/15 5 月定例会

ケナフ圃場管理を実施、草取り、及び芽が出ていないところの補植をする。ミャンマー2000 が全然生えていなので、この種は断念しました。



4 月 21 日種まき風景 5 月 15 日 青皮 3 号

5/2、3、15

環境科学センターの裏庭に以前設置されていた太陽パネルの後を、ケナフ部会の倉庫として利用したらとのご提案があり、上記の日程で作業しました。この倉庫は完全に湿気を防ぐ事は出来ませんが、農機具、ケナフ収穫物等は保管出来ると思います。



作業前の小屋 5 月 2 日 完成した小屋 5 月 15 日

5/29 ケナフ部会臨時例会。

6 月 4 日の「親子で楽しむ環境展」準備

## 2 今後の予定

6/4 「親子で楽しむ環境展」にケナフ部会でケナフ紙漉き及び展示

6/5 さがみはら環境まつり みんなで作ろう環境情報の輪にケナフ紙漉きを開催

7/28 環境科学センター「子ども環境体験教室」写真立てを作ろう

8/23 環境科学センター「子ども環境体験教室」ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう

## 3 その他

相模原市では平成 18 年 4 月に環境情報センターを開設する予定です。それに先立って今年は 6 月 5 日に麻布大学が費用、場所を提供して「さがみはら環境まつり」を開催し、ケナフ部会も参加することになりました。なお、この会は 6 期の小林義博さんが幹事になって居られます。

[http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/topics/htm/05/050515\\_06.html](http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/topics/htm/05/050515_06.html)

# 自然環境部会

## 自然環境への取り組みを教えてください

自然環境部会担当 安丸 元一

自然環境部会は当会にとって無くてはならない活動部会だと思います。

前部会長兼担当役員の岩田様が諸般の事情でご辞退されましたので、私がこの一年間お引き受けしました。全くの素人ですので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願いしたいと思います。

そこで、県下でご活躍の皆さんの中で現存の当会

部会以外で、地域の自然系にご活躍されている方々から活動状況・思い等をお聞きいたしたく、その方々からのご一報をお願いします。

その結果できるだけ早く面談して活動状況をお聞きし、多くの方々が“自然の大切さ”を訴え続けていることを全会員に報告したいと思います。

皆様からのご一報をお待ちしています。(Fax, Email が有難いです)

宛先 氏名 安丸 元一

住所 〒253-0064 茅ヶ崎市柳島 2-11-64

Tel/Fax 0467-86-3871

E-mail [genichi-1@nifty.com](mailto:genichi-1@nifty.com)

## 大気環境部会

部会長 猪股 満智子

### 活動報告(4~5月)

5月14日(土) 10:00~16:30

KERC実習室 参加7名

捕集管洗浄と測定準備、総会出席

「夏休み子ども環境体験教室」田中主事と打合せ

5月23日(月) 13:30~16:30 KERC実習室

部会および捕集管・ろ紙装填・配布

### 活動予定(6~7月)

6月2日(木)夕~6月3日(金)夕

NO2 24時間一斉測定

6月4日(土) 9:00~17:00

第4回「親子で楽しむ環境展」に出展

6月10日(金) 13:00~16:30 KERC実習室  
マッピング(地図入力)検討プロジェクト  
NO2一斉分析

7月21日(木) 13:00~16:00

KERC実習室

KERC主催 夏休み子ども体験教室

「アサガオ・ツバメで環境チェック」講師

#### 自然系モニタリング

タンポポ(調査3~5月末)提出 6月10日  
KERC必着か猪股宛お送り願います。

ツバメ(調査5月~7月末)提出 9月末  
ツバメの姿を見た

巣にツバメがいた

住所、地域明細地図等に見つけた場所、数を  
記す

## 水環境部会

水環境部会・事業担当 古谷 敏夫

### 1、活動報告(4月~5月)

(1) 探水調査 酒匂川水系 4月17日(日)

(2) 探水調査 酒匂川水系 5月22日(日)

### 2、活動予定(6月~8月)

(1) 環境展への参加 6月4日(土)

(2) 身近な水環境の全国一斉調査への参加  
6月5日(日)

(調査河川・酒匂川及び金目川水系)

(3) 探水調査 河内川水系 6月19日(日)

(4) 底生生物の分類・分析と水質調査講座

(環境科学センター)6月下旬

(5) 探水調査 金目川水系 7月24日(日)

(6) 探水調査 相模川水系 8月21日(日)

(7) 生きもの再生調査(外来種)各種河川  
4月~9月(随時)

#### 特記

水環境部会の17年度事業計画の活動目標として、行政との協働が提案されたことから、神奈川県が事務局となっている。

丹沢・大山総合調査の中の生きもの再生調査(外来種)について上半期重点的に調査を実施する。

## グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

### <活動報告>

3月23日に初めてのミーティングを開催し活動を開始しました。

ほぼ月1回ミーティングを開催し、6月4日の「親子環境展」に向けて、準備を進めています。

### <今後の予定>

7月2日(土)ひらつか市民活動センター(午後から)

・環境展で実施したプログラムの改善

・今後の活動内容とスケジュール

について、アイデアを持ち寄って検討します。

「環境に配慮した買い物」について、「こんなことやってみよう。」

という想いのある方、少しでも興味のある方、是非お越しください。

10月ごろを目標に、「学習プログラム 第1弾」の完成を目指しています。

一緒にプログラム作りをしませんか?

# 地域活動サポート部

部長 香川 興勝

## 1. 県内の環境講座・環境イベント情報

県内で開催予定の環境に関わる講座やイベントの情報がインターネットで検索することができます。平成17年5月15日現在県内で開催される予定の153件の情報が記載されています。その検索法を記載します。皆さんの参考になれば幸いです。

“神奈川県環境科学センター”と入力して検索  
リック “地球環境学習 Hpへ”をクリック  
“県内の環境講座・イベント情報”をクリック

“神奈川県環境科学センターのホームページ”をク  
「地球環境学習 ひろば」のページになります。  
“プラネットかながわ”をクリック

以上で検索ができます。

## 2. 県下で活躍するK・リーダー会 会員の地域分布状態

平成17年3月31日現在の会員数は172名です。会員は県内17市4町に居住されています。

右図はその分布状態を示しています。(作成:安丸代表)。神奈川県は37市町村から構成されていますので、リーダー会会員のいない市町村がまだ2市13町1村あります。

一致団結して、住み良い神奈川県を作っていくためにもより多くの地域からの参加が望まれます。皆様の友人・知人の参加を期待しています。ご配慮の程宜敷くお願いいたします。



## 3. K・リーダー会会員が持っている専門資格について

環境科学センターの“環境学習リーダー人材情報”に登録されている会員の方々がおられる専門資格を調べてみましたところ、後記に示しますように41種類にもなることがわかりました。登録の際に環境関係の資格に限って登録され、他の分野(例:電気主任技術者など)については登録されなかった方々等がおられると思いますが、それにしても多士済々の専門家が会員の中におられることがわかります。

これからの環境保護・保全活動に有効に生かしていければと思います。ご協力をお願いいたします。

## 4. 環境に関する各種講演・イベント等の情報提供のお願い

京都議定書の発効等とともに、最近国内における環境関係の講演会や各種イベントが多数開催されています。地域活動サポート部ではK・リーダー会会員や県、市町村、各種団体等が主催する講演会やイベント等の情報を集め、会報誌により会員全員にお知らせする体制を作りたいと思っています。

早速ですが、6月度より皆様の持っている情報を地域活動サポート部にファックスか電子メールでお送りいただきたく宜敷くお願いいたします。お送りいただく内容は情報例に示す通りですが、パンフレットやチラシによるものでも結構です。次回の会報誌の発行は7月末の予定ですので8月1日以降のイベント情報を会報45号に載せる予定です。ご協力の程、宜敷くお願いいたします。



## 情報例

イベント名	第6回えびな環境展
開催日時	6月3日(金)～24日(金) 10時～16時
開催場所	海老名市役所1階 エントランスホール
内容	環境保全対策支援事業のPR他、環境対策の普及促進
問合せ先	海老名市役所環境部環境保全課
主催者	海老名市

連絡先：地域活動サポート部

FAX：0465-36-9027（香川）

E-mail：yoshikatsu\_kagawa@ybb.ne.jp

### 5. 環境月間に開催される県、市町村、団体等によるイベントのお知らせ

6月は環境月間です。県内では県、市町村、団体等により32件のイベントが行われます。

神奈川県環境農政部環境計画課でまとめられたイベントリストとその内容が“かながわの環境”のホームページに紹介されています。皆さんの地域のイベントが紹介されています。是非ご覧になり、参加してイベントを盛り上げていただければと思います。また、参加されたイベントに関する各種情報を地域活動サポート部宛に連絡いただければ幸いです。今後のK・リーダー会の活動の参考にさせていただきたいと思います。

ご協力の程宜敷くお願いいたします。連絡先は4.項と同じです。

### 【会員が持っている専門資格】

自然観察指導員

神奈川県自然観察指導員

神奈川県フィールドスタッフ

自然体験活動リーダー

グリーンセーバーマスター

バードウォッチング検定2級

ビオトープ施工管理士

環境カウンセラー（市民、事業者）

環境教育・指導インストラクター

ISO14001主任審査員・審査員・審査員補

オゾン層保護対策指導員

省エネセンター省エネ普及指導員

神奈川県地球温暖化防止活動推進員

作業環境測定士

環境計量士（騒音、濃度、振動）

公害防止管理者（大気、水質、騒音）

衛生管理士

繊維製品品質管理士

消費生活専門相談員

化学物質管理指導者

特化物作業主任者

危険物取扱作業主任者（甲、乙種）

有機溶剤作業主任者

特別管理産業廃棄物管理責任者

産業廃棄物中間処理管理技術者

エネルギー管理士

熱エネルギー管理士

電気エネルギー管理士

電気主任技術者

高圧ガス取扱主任者

第1種冷凍保安責任者

ボイラー技士、ボイラー整備士

放射線取扱主任者

X線作業主任者

技術士（衛生工学、水道部門）

教員免許（理科免許1・2級）

1級建築士

自動車整備士

宅地建物取扱主任者

## 広報部

部長 黒澤 宏

### 広報活動をご一緒にやりませんか

リーダー会では、以前にも増して、地域での会員の活動を支援、或いは活動のネットワーク化を図ろうと地域交流会を手始めに、積極的な動きが始まっております。その動きの中で重要な役割を占めるのが、会員同士の情報交換・連絡・啓発ですが、これに大きな力を発揮できるのが会報です。

今後地域活動サポート部との連携で益々内容の充実が期待されるわけですが、現在、広報活動に携われる部員が少なく、リーダー会として危機的な状態にあります。

皆さんの新しい風を、会報に、そしてリーダー会に吹き込んでみませんか。たくさんの会員の皆さんの応募をお待ちしております。

部員の役割：

- ・会報の編集企画
- ・会報記事の取材
- ・会報紙面の作成（パソコン操作）
- ・会報の印刷、発送
- ・HPの作成・更新

募集期限：いつでも受け付けます。

特に、これまでに広報の編集、発行に携わっていた方大歓迎です。

連絡先：広報部長（本誌末尾参照）

## = 豆知識のページ =

### 第27回「かながわ環境月間」にあたって

神奈川県環境農政部環境計画課  
アジェンダ推進班

昭和47年(1972年)6月5日にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」において、日本代表の提唱により、毎年6月5日を「世界環境デー」として定めることとし、世界各国はこの日に環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするための各種行事を行ってまいりました。

日本では「環境基本法」において6月5日を「環境の日」と定めており、「事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高める」という趣旨を明らかにした上、国、地方公共団体等においては、この趣旨にふさわしい各種の行事等を実施することとしています。

我が国では、昭和48年(1973年)に6月5日を初日とする「環境週間」を、平成3年(1991年)からは6月の一か月間を「環境月間」とし、環境保全に関する国民の意識の向上と行動を促すための催し等を実施してまいりました。

本県においてもこうした国の取組に呼応して、昭和54年(1979年)から「世界環境デー」を含む6月の1か月間を「かながわ環境月間」と定めて、環境保全に向けた各種の行事を毎年展開してきており、

昨年度も、県環境学習リーダー会による「親子で楽しむ環境展」をはじめとする各種イベントが開催され、好評を得ております。

こうした中で、本年2月16日に、地球温暖化防止に係る京都議定書が発効いたしました。この条約の中で、日本は温室効果ガスを1990年に比べ6%削減することが義務付けられており、地球温暖化防止に向け、様々な取組をより一層進めることが、まさにまったなしで求められることとなりました。

企業の活動はもとより、私たちが生活する中で、電気やガス、自動車などを使用することにより化石燃料が消費され、温室効果ガスが排出され続けています。

地球温暖化を防止するため、社会を形づくるみんなの力を合わせることも、ますます必要となっています。

第27回となる平成17年度の「かながわ環境月間」では、県及びかながわ地球環境保全推進会議、神奈川県地球温暖化防止活動推進センターが、県民、企業、行政、NPO等の参加と協力の下に、地球温暖化をはじめとする地球環境問題の解決に向けて、「新アジェンダ21かながわ」を踏まえた、効果的な普及啓発活動や具体的な実践活動を行うほか、県内の市町村や、神奈川県環境学習リーダー会をはじめとする環境団体・NPOなどが様々な活動を行うことで、県民一人ひとりの環境保全意識の高揚と環境配慮活動の環を拡げていければと考えております。

## 会員の広場

### ようこそ！ちがさき環境フェア2005

茅ヶ崎市 岡安 明

環境市民会議「ちがさきエコワーク」の最も主要な行事であるちがさき環境フェアについて、紙面を借りて説明ならびにお誘いを申し上げます。今年度茅ヶ崎市は、ISO14001の認証取得を致します。その意味で今年の環境フェアは、節目に当たります。

茅ヶ崎市・寒川町に在住の多くの学習リーダーも、様々なフェアの催しに関わり中心的な役割をしています。

フェアの大きな目的の一つは市民と事業者と行政が一体となって自然保護やごみ問題など身近な環境問題への意識向上を市民へ呼びかけることです。

また、次の世代の担い手である子どもたちにも数多く来てもらうために児童が楽しんで環境問題に取り組めるように、スタンプラリー、環境カルタ、思

いの樹といった参加型のイベントを学習リーダーが中心となり企画しました。

特に今年の環境カルタは、前回までのフェアで集めた環境俳句・川柳から、ちがさき環境カルタを作りましたので、それを使って大人も子どもも、夢中になって札を取っている内に、「いつの間にかちがさきの環境について達人になってしまう！」を目論んでいます。

詳細は、以下のとおり環境貢献者の表彰あり、フォーラムあり、映画あり、展示ありと毎年充実してきています。K・リーダー会も今年度は、展示参加があるということなので、県内の多くのリーダーからの参加・お手伝いを心よりお待ちしております。

と き：7月2日(土) 10時～20時15分

(展示室は、17時30分まで)

7月3日(日) 10時～17時

ところ：茅ヶ崎市民文化会館 小ホール、展示室、練習室 他

内 容：表彰(環境指導員・集団資源回収団体)、フォーラム「環境先進都市 茅ヶ崎を考える」

映画『阿弥陀堂だより』、  
アニメ映画『グリーンガリー 永遠の熱帯  
雨林』

環境展、自然環境講演会、ネイチャーゲー  
ム、環境カルタ ほか

## 「地球温暖化防止活動推進員等交流 会」に参加して

座間市 西 寿子

去る2月23日～24日、全国地球温暖化防止活動推進センター主催により開催された「地球温暖化防止活動推進員等交流会」に参加いたしました。この会は全国各地から100名余りの地球温暖化防止活動推進員が集まり、推進員として行っている様々な活動を報告したり、知識や情報を共有することにより今後の活動の糸口を見つけることを目的としています。

プログラムは 基調講演、その後3分科会（A環境学習、B地域のネットワーク、C普及啓発活動）に分かれて事例報告や課題についてのWS、発表等、2日間に渡って実施されました。

基調講演は 福岡大学法学部教授 浅野直人氏による「地球温暖化防止のための地域での取り組みその期待と現実」でしたが、その中で

- \* 温暖化対策で地域に期待されるものとして
    - ・ 知識は充分に行きわたっている。しかし行動につながらない事が悩み！
    - ・ きめ細かい情報の提供、活動主体に応じて実施する事は国では無理、顔と顔が見える段階に
    - ・ 地域行政には行政の施策の中への温暖化対策の視点の取りこみ、施策展開を期待
  - \* 地域への期待をさまたげるものは？
    - ・ 国の縦割り行政、道府県と市町村の役割整理の不十分さ
  - \* 推進員の役割への期待
    - ・ 国の推進員活動の検討・支援は不十分
    - ・ わかり易い情報提供の為の通訳機能
- 等の話はとても興味深く同感致しました。

その後私の参加した分科会 A環境学習では、京都府と神奈川県からの実践例の報告後、地域での取り組みや事例報告、WS、発表などを行いました。温暖化防止活動推進センターについては「活動計画を出せば予算を付けます」という県もあれば同センター未設置の県もあり様々でした。学校との連携についても成功例や失敗例など各県様々でしたが概ね、支援不足は大きな課題でした。

その中で神奈川県グリーン教育支援制度は優れた仕組みだと思われ、今後更に大きく育てて頂きたいと改めて感じました。

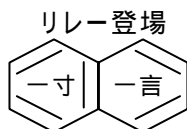
WSは6グループに分かれて「目指したい環境学習」について話し合いが行われ、私たちのグループは「夢創造型の環境学習」-楽しいことが一番（写真）という事に纏まりました。

ここでも他県の具体的な取り組みや問題点等を聞く事ができ参考になりました。温暖化防止活動は国策と共に地域からの取り組みが重要と思われ。今後、環境に関心のない人たちをどう取り込みネットワーク作り進めていくかなど課題は多々ありますが、多くの仲間と情報を共有しながら「楽しい環・境・楽・習」を通して温暖化防止活動を進めていきたいと思っています。



## 鎌倉市環境基本計画 改定にかかわる

鎌倉市 猪股 満智子



現在、神奈川県環境基本計画が改訂中であることを皆様よくご存知のことと思います。ちょうど9年前、神奈川においては県に続いて鎌倉市がいち早く市政初めての「環境」分野の基本計画を策定、施行しました。その目標期間が平成18年3月までとなっていることから、昨年4月より本市環境審議会では計画の改定作業を進めています。

前基本計画策定時は国を挙げての地球環境問題、と騒々しく取りあげられた記憶は皆様も同じと思います。環境自治体(課)と名乗った本市においても、お祭りのごとく「市民に関心を持ってもらいはじめて環境保全行動につながるのだから誰でもよい」と、年代、男女構成バランスを整え(私などは会から数名の見繕い、推薦の役まで仰せつかった)、市民や審議会委員をワークショップで乗せ、計画の中身はよくあるコンサルが準備万端整えるというものでした。できた計画は20%クラブ加盟による何でも20%減の目標です。

腹立たしいくらいの想いが残っています。

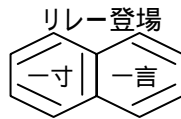
しかし 10 年経た現在の地球環境問題の変化、そして緑保全や高齢化で疲弊する市の財政事情等で次期基本計画づくりの様子は一変。改定計画に臨む意見に加え環境活動実績を A 4 紙 2 枚に打ち込み申告・公募といった形で、2 倍の応募者中からの人選となりました。その上、審議委員の中からさらに小人数の作業部会を形成し、委員の一部と専門家、課担当職員との手作り作業を 3 ヶ月に 2 回ほどの開催頻度で進めています。作業効率を上げるために、現行計画の評価総括や改訂計画案の細目等は A 3 で 20 ページ程度のファイルで作業部会員に送られ、めいめいがそれを添削入力・送信。それをまとめたものが次回部会に資料として出されるという形で進めることもあります。また環境教育実績のある団体代表に来庁してもらい、現状と課題についてヒアリングも行いました。作業から 1 年経て改定骨子がまとまり、今 5 月中旬までその骨子案に対するパブリックコメントを募り、さらに 6 月作業部会で検討予定と

なっています。

改定計画の大きな目玉は施策目標に指標を挙げ現実的な目標数値を示したこと、皆様ご存知の通り地球温暖化対策と環境教育。大規模工場が殆ど無い本市における温室効果ガス排出量推計値は多い方から民生業務、産業、民生家庭、運輸という順ですが、大きく排出削減に貢献しているのがごみ排出量の約 40%を資源化・減量化している廃棄物部門の約 30%減 / CO<sub>2</sub>換算。市民の努力がここで報われます。Kリーダ者のもう一つの関心事でもある環境教育、普及啓発事業は前記パブコメのまとめが一段落した夏から集中審議ということになりますが、一過性のイベントや工作学習に頼らない体系的、体験的な環境学習を地道に積みあげるリーダー育成をめざしています。また推進体制、進行管理等も過去の反省を踏まえ、市民主体のあり方に係ってくると思われま

次のランナーは温暖化防止推進でお世話になっている小澤茂さん（横須賀市）です。

## 太陽光発電



横須賀市 依田 毅

地球温暖化は急速に進行しつつある。その影響を、すでに受けている。

原因である CO<sub>2</sub> 削減のため、新エネルギーの利用が各地で行われ始めた。市民・NPO 主体の「風力発電」、市民・事業者・地方自治体が一体に取り組む「太陽光発電郡と商店街エスコ事業」等。小さな実践が CO<sub>2</sub> 削減・スマートライフにつながり、地球温暖化防止に役立つと思う。

### 【我が家の住宅に設置された太陽光発電】

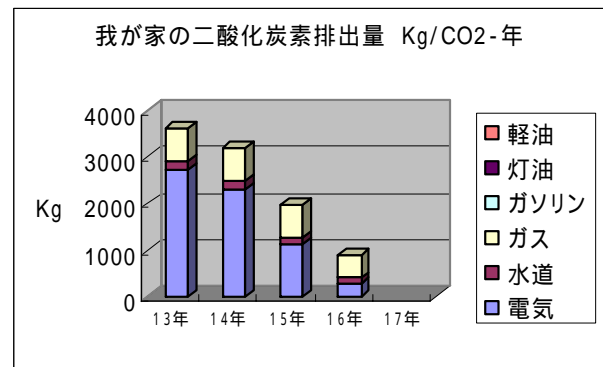
- ・太陽光発電システム容量 3 KW
- ・設置費 1 8 6 万円  
(内国庫補助金 3 0 万円)
- ・設置場所 横須賀市
- ・設置年月 平成 1 4 年 1 0 月

### 1. 太陽光発電実績と依存率 (表 1)

年度	発電量 KWh	使用量 KWh	売電量 KWh	買電量 KWh	依存率 (*) %
1 3				7,157	
1 4	349	159	136	6,166	5.5
1 5	2,936	1,170	1,766	4,453	53.2
1 6	3,434	961	2,492	2,889	89.2

(\*) 依存率：発電量 / (使用量 + 買電量)

### 2. 二酸化炭素の年度別排出量 (グラフ 1)



### 家族構成

- ・ 1 3、1 4 年度 4 人
- ・ 1 5 年度 3 人
- ・ 1 6 年度 2 ~ 3 人

### 家庭での電気の二酸化炭素排出割合

- ・ 太陽光発電設置前 70~80%
- ・ 太陽光発電設置後 10~50%

太陽光発電設置後は、「省エネ」意識改革により、電気使用量は削減された。

**高価な施設を購入する前に、まず「省エネ」の実践を、CO<sub>2</sub> は削減できます。**

次のランナーは安藤紘史さん（逗子市）に御願い致します。



## 二酸化炭素回収システム見学報告

エネルギー部会 安藤 紘史

セラミックを用いた二酸化炭素回収システムを見学したので報告します。

見学先：(株)東芝研究開発センターと東芝科学館

日時：4月21日(木)14時～17時

参加者：エネルギー部会：下条、大森、吉田、安藤

大気環境部会：猪俣

神奈川県地球温暖化防止活動推進員(横三地区)企画の見学会に参加

〔システムの概要〕



室温～700℃では 方向に反応(吸収)

700℃以上では 方向に反応(排出)

吸収量 体積で500倍 重量費で36.7%

温度を調整する事により吸収排出を繰り返す。

〔実用化時期〕 2007年度を目指している

〔見学した実演〕

- ・二酸化炭素比率18%、550℃の気体(ガス改質時を想定)が0.00%の気体となり出てくる
- ・二酸化炭素吸収前と吸収後のサンプルの重量比較(約30%増)

- ・二酸化炭素比率840ppm、室温の気体が30秒で0ppmとなる
- ・室内空気清浄を想定

〔開発の狙い〕

温暖化対策・・・二酸化炭素の大量補足

ガソリンや天然ガスを改質する段階(高温高濃度:CO<sub>2</sub>が20%近い)で効率よく稼働する。

化学反応促進・・・二酸化炭素除去により、高品位な製品生成や反応速度加速が可能となる。

(例:高品質の水素ガスをより多く精製できる)

〔感想〕

二酸化炭素が目前でゼロとなる実演は、大変印象的で斬新でした。

この技術による二酸化炭素捕捉と油田注入による石油の増産や高品位の水素生成等々、期待できる分野は多々あると思う。

一方、温暖化防止のためには、大量に捕捉したガスの処分方法が確立されねばならない。この質問に対して、地下や海底への注入について説明されたが、大気に加えて、地中や海中まで廃棄物を子供達に残す事となる。・・・大気中の温暖化ガス、国債、自然破壊に加えて・・・皆さんはどうお考えですか?

少なくとも、これがあるからと言ってエネルギー消費削減の手を緩める事があってはならないと思う。

## 横浜市旭区での持続可能な地域づくりを目指して

環境まちづくり市民の会

サステイナブルあさひ

八木下 一壬

### 『環境まちづくり』ってなんですか?

それは、“持続可能な地域づくり”のことです。環境への負荷が少なく自然と人が共生できる地域づくりを、市民が中心になって継続的な活動を進めることです。私たちの旭区を、住む人たちが生きがいを持ち、安全で安心して生活できる環境にやさしいまちにしたいと思いませんか。みんなで環境のことを学びながら、旭区のまちづくりを考えてみましょう。このような呼びかけで、平成15年度旭区生涯学級あさひまちづくり運営委員会が、“みんなで考えよう!『環境まちづくり』”を主催(企画・運営)したのが、当会のはじまりです。平成16年5月に旭区生涯学級の受講者7名が参加し、会の名称を“環境まちづくり市民の会サステイナブルあさひ”と変更し、会員10名で環境まちづくりの活動をはじめました。

### 1. 会の目的と事業

会の目的は、環境まちづくりに関する活動を実践

し、持続可能な地域の実現に貢献することです。この目的を達成するために、次の事業を行います。

- ・市民参加型まちづくり事業への参加・支援
- ・環境、まちづくりに関する講座の企画・運営
- ・環境、まちづくり、福祉、教育に関する調査・研究、及び普及・啓発

### 2. 活動事例の紹介

平成16年度まで主に講座や体験教室を開催しています。主な活動内容を簡単に紹介します。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.nextftp.com/yagi-sky/s-asahi/>

#### (1) 平成15年度旭区生涯学級“みんなで考えよう!『環境まちづくり』”

環境のことを学びながら、みんなで旭区のまちづくりを考える講座を開催しました。

- ・【公開講座】環境問題、過去・現在・未来  
(国際連合大学副学長 安井 至)
- ・【講義】環境まちづくり  
(かながわ環境教育研究会代表 渡辺 敦)
- ・【講義】地球温暖化防止と横浜市での取り組み  
(横浜市地球温暖化対策地域協議会委員 北村博子)
- ・【見学】ごみの焼却と資源選別



(環境事業局鶴見工場・鶴見資源化センター)

- ・【見学】安全・安心へのこだわり栽培  
(旭区今宿南町農園 新川 安男)
- ・【ワークショップ】旭区のまちづくりを考える  
(あさひまちづくり運営委員会委員)

(2)平成 16 年度旭区区民提案型活動支援事業“地産地消とエコライフ推進事業”

“みんなで楽しくスローライフを体験しよう”という教室を開催しました。

- ・【体験教室】地元の野菜でエコクッキング  
(栄工場のゴミを考える会代表 西岡 政子)
- ・【体験教室】寺家ふるさと村散策とこんにゃくづくり  
(寺家ふるさと村婦人部長 大曾根 春江)
- ・【体験教室】手打ち蕎麦をつくって食べよう  
(サステイナブルあさひ会員 玉田 和男)
- ・【体験教室】生ゴミからの土づくりと花づくり  
(ゴミ資源化研究会代表 芹澤 孝之)

(3)横浜市地球温暖化対策協議会推進員会環境教育・環境学習プロジェクト

平成 16 年度旭区プロジェクトとして、“エコライフ実践講座”を推進員会と共催で開催し、企画・運営・講師は、当会の会員が担当しました。

- ・【講義】地球温暖化とエネルギー
- ・【講義】家庭でのエネルギー消費と省エネルギー
- ・【ワークショップ】家庭での効果的な省エネルギーの方法
- ・【ワークショップ】消費電力・待機電力の使い方と家庭での測定
- ・【ワークショップ】消費電力・待機電力の測定結果発表、各自のエコライフプランの作成と実践
- ・【講義】省エネルギー型の家電機器・車・住宅
- ・【ワークショップ】想像してみよう 2033 年のわたしたちの生活
- ・【ワークショップ】エコライフ・プラン実践結果とエコライフ度チェック結果の発表とまとめ

### 3. 今後の活動について

会員数が 14 名に増え、男女構成が男 8 名、女 6 名、年齢構成が 20~60 代で、いろいろな活動や経験をしてきた方が参加しています。旭区での持続可能な地域づくりを目指し、環境ネットワークの構築と環境活動への市民参加を推進する活動を進めていきたいと考えています。

## 掲示板

~地球の未来のために~

### 第 4 回親子で楽しむ環境展

神奈川県環境保全活動のリーダー、会員全員で、親子で楽しむ環境展を支え盛り上げましょう

日時：平成 17 年 6 月 4 日(土) 10:00~16:00

場所：神奈川県民センター1 階展示場・102 号室

内容：

展示

- ・一人ひとりの行動が、地球の未来を変える
- ・スローライフ
- ・省エネ・ごみ分別回収
- ・神奈川のごみ事情
- ・電気使用量・NO<sub>2</sub> 調査結果
- ・グリーンマーク
- ・3R パネル
- ・環境条約マークと世界の取組
- ・黄砂・朝顔
- ・水槽に水生生物

実験・体験

- ・燃料電池自動車 ・エコカルタ取り
- ・パソコンエコライフ診断
- ・生活行動チェック
- ・手回しミニカーレース、自転車発電
- ・生ごみから土作り
- ・リサイクル工作：空とぶ種、ブーメラン作り
- ・環境アニメ上映

### ・環境パズル

会費納入のお願い

当会の活動は、毎年活発発展しております。これも会員皆様の会費により支えられているものであります。

17 年度の会費お払い込み用紙を同封いたしましたので、皆様ご多忙のなかとは存じますが、お早めにお振込みをお願い申し上げます。

郵便振替番号 : 00230-4-30769

口座名 : 神奈川県環境学習リーダー会

### 編集後記

今年も新緑がまぶしいさわやかな季節がめぐってきました。私は植物が芽吹き刻々と色が変化していくこの季節が大好きです。

まぶしい太陽の光と自然が織りなす豊かな色彩。それを感じるだけで、元気が湧いてきます。

忙しい時にはつい見過ごしてしまいがちなことですが、季節の移ろいや自然を感じる感性をいつまでも持ち続けたいと思います。

広報部 杉山 陽絵

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 安丸 元一

編集人： 広報部長 黒澤 宏

TEL/FAX 0463-88-5193

発行日： 2005 年 5 月 29 日